

広川町立幼稚園・小中学校耐震性能一覧表

【凡例】

<構造>

- 1.「RC」:鉄筋コンクリート造 2.「SRC」:鉄筋鉄骨コンクリート造 3.「S」:鉄骨造 4.「W」:木造

<適否>

- 1.「○」:S56年以降の現行建築基準法の基準により建築されたもの、または2次診断の結果、文部科学省基準で耐震性がある(Is 0.7)と認められるもの、及び耐震改修を行ったもの
 2.「×」:2次診断の結果、文部科学省の基準で耐震性がない(Is < 0.7)と認められるもの
 3.「-」:2次診断中(または予定)のほか、改築予定やあり方検討中のため2次診断を行っていないもの

<耐震性能等の概要>

- 1.「新耐震基準適合」:S56年以降、現行の建築基準法の基準により建築されたもの
 2.「2次診断済み(改修不要):Is値」:精密な耐震診断の結果、改修等の必要がなかったもの
 3.「改修済み(年度)」:すでに耐震改修を行ったもの
 4.「2次診断済み(要改修):Is値」:精密な耐震診断の結果、改修等を要するもの

<Is値等>

Is値とは建物の耐震性能を示す指標で、Is値0.3未満は、大規模地震等に対して倒壊または崩壊する危険性が高いとされている(国土交通省告示第184号(平成18年))

CT×SD値とは、建物にある程度の強度を確保する目的の建物の形状(SD)や累積強度(CT)の指標に関する判定基準

q値とは、保有水平耐力に係る指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされる

<その他>

参考として、「備考」欄に簡易的な耐震診断である「1次診断」、耐震化の優先度を調査した「優先度調査(文部科学省基準により優先度の高い順に)」等の実施状況を付記した

(平成24年4月1日現在)

市町村名	施設名称	棟名称 棟番号	避難所 指定	竣工年度	構造	階数	延床面積 (㎡)	耐震性能等					今後の対応等	備考
								適否	概要	Is値等				
										Is値	CT×SD値	q値		
広川町	【小学校】													
	広小学校	校舎 -1		S32	RC	3	661	×	2次診断済み(要改修)	0.30	0.38		補強完了(H21)	
		校舎 -2		S33	RC	3	1,540	×						
		校舎 -3		S33	RC	3	117	×						
		屋体		S35	RC	1	495	×	2次診断済み(要改修)	0.12		0.26	補強完了(H21)	
		校舎		S50	RC	3	968	×	2次診断済み(要改修)	0.65	0.44		補強完了(H22)	
	南広小学校	校舎 -1		S34	RC	3	1,960	×	2次診断済み(要改修)	0.39	0.51		補強完了(H22)	
		校舎 -2		S51	S	2	54	×						
		校舎 -3		H02	S	2	60		新耐震基準適合					
		校舎 -4		S34	W	1	41	-						
		校舎		H16	S	2	194		新耐震基準適合					
	屋体		H17	RC	2	682		新耐震基準適合						
	南広小学校西広分校	校舎		H08	RC	2	645		新耐震基準適合					
	南広小学校井関分校	校舎		H05	RC	2	509		新耐震基準適合					
	津木小学校	校舎		H02	S	2	165		新耐震基準適合					
		校舎		H10	RC	3	1,260		新耐震基準適合					
		屋体		H12	RC	1	672		新耐震基準適合					
	【中学校】													
	耐久中学校	屋体		S05	RC	1	348	×	1次診断				取壊し(H23)	
		校舎 -1		S37	RC	3	951	×	2次診断済み(要改修)	0.53	0.53		補強完了(H22)	
校舎 -2			S37	RC	5	1,428	×							
屋体			S40	RC	1	594		改修済み(H15)						
校舎 -1			H05	RC	2	1,379		新耐震基準適合						
校舎 -2		H05	RC	1	17		新耐震基準適合							
津木中学校	校舎 -1		S38	RC	3	1,353	×	2次診断済み(要改修)	0.24	0.31		補強完了(H22)		
	校舎 -2		S38	RC	1	234	×							
	屋体		S60	RC	1	798		新耐震基準適合						
【幼稚園】														
広川幼稚園 (現 広川なかよし子ども園)	校舎		S57	RC	2	561		新耐震基準適合						